

ISM CloudOne LGWAN-ASP セキュリティ運用方針(1.1版)

2024年1月30日

クオリティソフト株式会社

<http://www.qualitysoft.com/>

目次

1. 概要	2
1.1. はじめに	2
2. セキュリティ運用方針	2
2.1. 利用者との責任分界点	2
2.1.1. クオリティソフト(以下当社)の責任	2
2.1.2. 利用者様の責任	2
2.2. データの保管場所	2
2.3. データの削除	2
2.3.1. 削除する条件	2
2.3.2. 削除するタイミング	3
2.3.3. 削除対象	3
2.4. ラベル付け	3
2.4.1. 組織	3
2.4.2. 個別ポリシー	3
2.5. 管理者登録、削除および権限の管理	3
2.5.1. 管理者登録	3
2.5.2. 管理者削除	3
2.5.3. 管理者権限の管理	3
2.6. パスワードの管理	3
2.7. 暗号化の対象	4
2.8. サービス稼働状況の管理	4
2.9. 変更の管理	4
2.10. マニュアルのご提供	4
2.11. 本サービスのバックアップについて	4
2.12. サービスのクロック同期について	4
2.13. 脆弱性管理について	5
2.14. 運用環境のセキュリティについて	5
2.15. サービス開発におけるセキュリティについて	5
2.16. セキュリティインシデント発生時の対応	5
2.17. カスタマデータの保護および第三者提供について	5
2.18. 適用法令	5
2.19. 認証	5
2.20. セキュリティに関する独立したレビュー	6
2.21. 免責	6
改訂履歴	6

1. 概要

1.1. はじめに

本書は、ISM CloudOne LGWAN-ASP(以下本サービス)のセキュリティ運用方針を記しています。

2. セキュリティ運用方針

2.1. 利用者との責任分界点

本サービスのセキュリティは、当社と利用者様の責任範囲を定め、それぞれの役割を分担し対策する 考え方(共同責任モデル)にて実施します。

2.1.1. クオリティソフト(以下当社)の責任

当社は本サービスにおいて、以下のセキュリティ対策を実施します。

- ・本サービスを提供するプログラムおよびミドルウェアの脆弱性対応
- ・ユーザーコンソールのセキュリティ対策
- ・クライアントプログラムからのデータ通信処理についてのセキュリティ対策

2.1.2. 利用者様の責任

利用者様は、ユーザーコンソールにログインするための管理者アカウントにおいて、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- ・管理者アカウントの適切な管理(登録、削除、各種権限の設定)
- ・パスワードの適切な管理

2.2. データの保管場所

利用者様にご利用いただくにあたり、本サービスにて収集するデータは以下に保管しています。

- ・データ保管場所: 日本国 岡山県内データセンター

2.3. データの削除

本サービスの解約手続きなどをおこなった場合、本サービスにて収集した利用者様のデータ(カスタマデータ)を削除いたします。削除したカスタマデータにつきましては復旧できません。削除する条件、タイミングおよび対象となるデータは次項に記します。

データを保存している物理装置の再利用、処分については、ISO27001に適合した当社の情報セキュリティマネジメントシステムの情報取扱規程に準拠しています。

2.3.1. 削除する条件

本サービスの解約処理を実施済みであること

2.3.2. 削除するタイミング

本サービス解約日より60日経過後

2.3.3. 削除対象

本サービスをご利用時にお伝えする企業コードに紐づくすべてのカスタマデータ

2.4. ラベル付け

本サービスにてグルーピングができる項目を記します。

2.4.1. 組織

「組織」として、「グループ」と「ユーザー」を設定できます。
登録したクライアントを、グループ毎またはユーザー毎にグルーピングが可能です。

2.4.2. 個別ポリシー

登録したクライアントに適用したいポリシーを個別に追加し、グルーピングが可能です。

2.5. 管理者登録、削除および権限の管理

2.5.1. 管理者登録

本サービス開始時にお伝えする初期設定アカウントにて、以降のサービスを利用する際に使用する 管理者の登録がおこなえます。

2.5.2. 管理者削除

登録した管理者情報は、いつでも削除が可能です。ただし、削除にあたっては削除したい管理者以外 外の管理者にてユーザーコンソールにログインする必要があります。

2.5.3. 管理者権限の管理

管理者の権限を設定し管理することができます。権限の詳細はマニュアルを参照ください(複数選択が可能です)。
また、管理者はグループ分けをして、選択したグループに対してのみの権限を設定することができます。

2.6. パスワードの管理

管理者のパスワードは、管理者登録時に設定できます。パスワードの変更は、ユーザーコンソールに ログインした際、または、別の管理者にてログインした際に変更できます。

2.7. 暗号化の対象

本サービスは、以下を暗号化しています。

- ・ユーザーコンソールに接続する端末とISMサーバー間の通信
SSL通信によって暗号化
- ・ISMクライアントとISMサーバー間の通信
SSL通信にて暗号化 または、データを暗号化した上で http通信にて送信
- ・ユーザーコンソールにログインする管理者アカウントのパスワード
暗号化して保存

2.8. サービス稼働状況の管理

本サービスの稼働状況は、以下のメンテナンス情報サイトに公開しています。

- ・ <https://www.qualitysoft.com/product/supports/notice/>

2.9. 変更の管理

本サービスの停止をとまなうメンテナンス作業については、緊急時を除き、原則作業の2週間前に「ユーザーコンソールのおしらせ」にてお知らせいたします。

2.10. マニュアルのご提供

本サービスの各機能のマニュアルは、以下からご利用いただけます。

- ・ISM CloudOne
ユーザーコンソール上のオンラインマニュアル
ダウンロードして利用するPDFファイル
- ・ISM LogAnalytics
ユーザーコンソール上のオンラインマニュアル

2.11. 本サービスのバックアップについて

本サービスは、スナップショットにてシステム全体のバックアップを取得しています。取得したバックアップデータは、バックアップ用ストレージに保管します。

バックアップは、本サービス全体の復旧を目的として取得しています。このため、個々の利用者様のデータを個別に復旧することはできません。

バックアップは以下のポリシーに沿って取得、保持します。

- ・OS部分
メンテナンス時の実施前後 7世代保持
- ・ISM LogAnalytics認証情報部分
1日毎に1回 7世代保持
- ・データ部分
1日毎に1回 1世代保持

2.12. サービスのクロック同期について

本サービスはLGWAN(総合行政ネットワーク)が提供するNTPサービスと同期しています。

2.13. 脆弱性管理について

当社は、本サービスを稼働させるにあたって利用しているOS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。

本サービスが利用しているOS、ミドルウェア等の脆弱性に対するパッチが公開された場合は、当社内で十分な検証をおこなった後に適用します。

2.14. 運用環境のセキュリティについて

本サービスは総合行政ネットワークASPガイドラインに従ったセキュリティ対策を実施しています。

2.15. サービス開発におけるセキュリティについて

サービス開発段階のプログラムに対して、第三者機関による脆弱性検証を実施しています。

2.16. セキュリティインシデント発生時の対応

セキュリティインシデントが発生した場合は、ご契約時に登録いただいたメールアドレス宛にメールでご報告します。

セキュリティインシデントに対してのお問い合わせは、以下リンク先よりご連絡ください。

<https://www.qualitysoft.com/contact/>

2.17. カスタマデータの保護および第三者提供について

カスタマデータやログデータは、本サービスのサーバー内にて保管しています。

このサーバーに対してのアクセスは、当社内においてもサービス運用に携わる一部の者しかアクセスできないよう権限を設定しています。

ただし、法令に基づき裁判所もしくは政府機関の命令等により開示が求められた場合には、カスタマデータを第三者へ開示することができるものとします。

カスタマデータの保護は利用者様の責任範囲においてデータのバックアップをおこない実施するものとします。

2.18. 適用法令

利用者様と当社との契約に関する解釈は日本法に準拠いたします。

2.19. 認証

当社は、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格である「ISO/IEC27001:2013 / JIS Q 27001:2014」(https://isms.jp/1st/ind/CR_JQA-IM1459.html)の認証を取得しています。

情報セキュリティマネジメントシステム認証登録範囲

情報セキュリティパッケージソフトウェアの開発

自社パッケージソフトウェアによるクラウドセキュリティサービスの提供

自社パッケージソフトウェアによるクラウドセキュリティサービスの販売及びサポート
ドローンの販売及び操作方法のトレーニング

2.20. セキュリティに関する独立したレビュー

年一回、情報セキュリティマネジメントシステムについてレビューし、必要に応じて見直しをおこなっています。

レビューは当社内担当部門に対して内部監査を実施し、内部規程等への準拠性に対する評価および改善を実施しています。

内部監査員は、ISO/IEC27001:2013内部監査員セミナー受講者、ISMSクラウドセキュリティ審査員セミナー受講者で構成されています。

2.21. 免責

当社が提供する本サービスは、国内業者のファシリティサービスを利用しています。本書に記載したセキュリティ運用方針は、当該のファシリティサービスに対して及ぶものではありません。また、当該のファシリティサービスに対して、本書の遵守を保証するものではありません。

改訂履歴

版数	改定日	改定内容
1.0	2023年10月20日	初版
1.1	2024年1月30日	「2.8. 本サービスの稼働状況の管理」の記述を更新
以下余白		

以上